

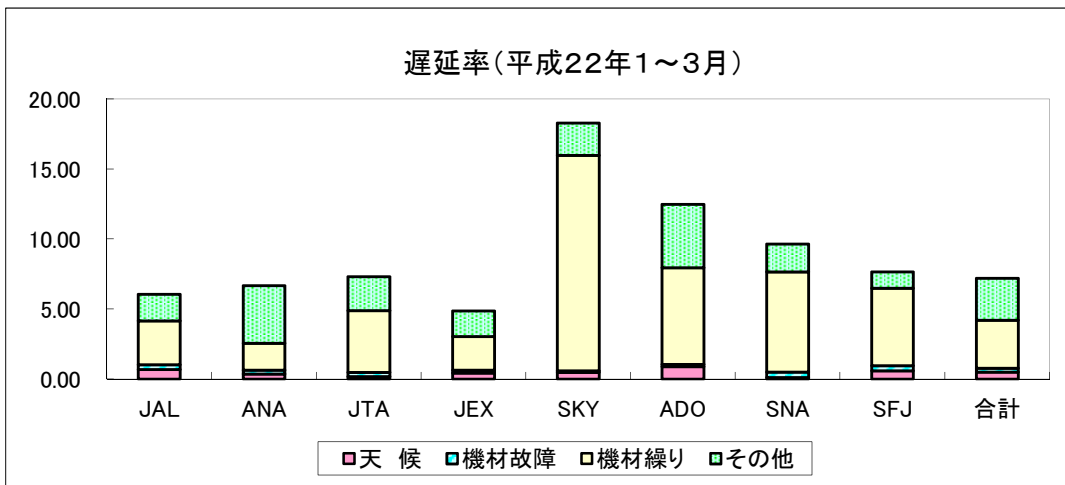
特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成22年1~3月)のポイント

※日本航空: JAL(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸: ANA(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空: JTA、ジャルエクスプレス: JEX、スカイマーク: SKY、北海道国際航空: ADO、スカイネットアジア航空: SNA及びスターフライヤー: SFJ

1. 輸送サービスの比較等に関する情報 (1) 遅延率(平成22年1月~3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
7.19%	5.45%	1.74ポイント増加

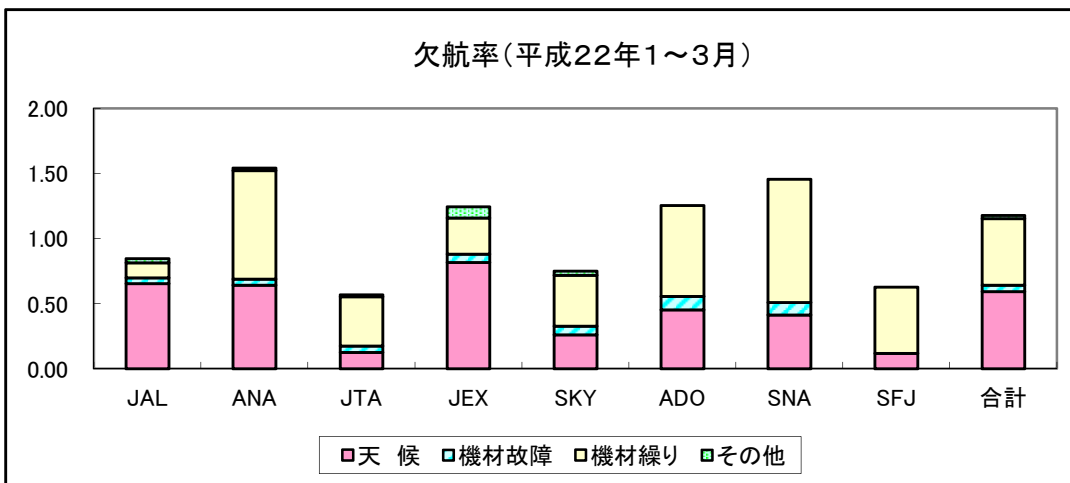
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成22年1月~3月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.18%	1.34%	0.16ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成22年1月～3月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	917km	914km	0.3%増
輸送人員	1969万9196人	1976万2141人	0.3%減
輸送人キロ	180億6493万人キロ	180億5910万人キロ	0.0%増
旅客収入	2960億83百万円	3060億41百万円	3.3%減
輸送人員あたり 旅客収入	15.0千円	15.5千円	3.2%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16.4円	16.9円	3.0%減

(2) 路線別データ(平成22年1月～3月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	220万8722人
2位 東京＝福岡	188万4130人
3位 東京＝那覇	128万7596人
4位 東京＝大阪	128万2940人
5位 東京＝鹿児島	53万7415人
全路線	1960万2410人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 那覇＝静岡	80.5%	1位 札幌＝利尻	13.9%
2位 広島＝札幌	77.9%	2位 札幌＝稚内	16.4%
3位 大阪＝札幌	77.2%	3位 福岡＝神戸	20.7%
4位 福岡＝札幌	75.0%	4位 中部＝徳島	24.0%
4位 東京＝神戸	75.0%	5位 東京＝大島	25.0%
全路線	62.0%	全路線	62.0%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成22年1～3月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	北海道国際航空	3.48人	0.82人
②	全日本空輸	1.66人	1.32人
③	スカイネットアジア航空	1.53人	0.31人
	全社平均	1.23人	0.72人